

設けないことを考えています。

さらに、空き家を減少させる支援対策を考えました。

1つ目は、空き家バンク制度を創設するとともに、空き家の取得や賃貸した者に改修費の一部を支援すること。2つ目は、適正に管理されず、防犯や防災上周囲に対して危険性の高い空き家について、その所有者等から当該空き家やその土地の寄附を受け、市で空き家を除却すること。3つ目は、条例の規定による指導や勧告に従って空き家を除却する措置を講じる者に、その費用の一部を助成すること。

最後に、4つ目は、空き家等で

人の生命、身体、財産に急迫した危険があり、所有者等が速やかにその危険を防止できないときは、緊急措置として市が防止し、費用を所有者等から徴収すること。なお、この規定で市に緊急措置に要した費用の債権が発生するため、所有者等の所在が判明しないときは、家庭裁判所に相続財産管理人の選任の申立てなどを行っていきたいと考えています。空き家対策に十分なものは考えていませんが、とりあえず考えうるものを条例で制定したいと考えています。し

たがって、実施後の状況に応じ

### 持続可能な農業の確立と生物多様性の充実

原子力発電所事故後、剪定枝等の堆肥の生産を停止していましたが、剪定枝等の放射性セシウム濃度が23年7月をピークに減少し、利用可能な200ベクレルを下回ってきたことから1月に堆肥化を再開しています。今年度のもみ殻ふん堆肥と剪定枝等の堆肥の混合堆肥生産は、震災前の剪定枝等の堆肥の在庫があり、年間約千770トン进行予定しています。1月末現在の販売は900トンで、春先の需要期にも対応できると考えています。

また、今年度、更に資源循環型農業と環境にやさしい農業を推進するため、稲わらを収集し稲わら牛ふん堆肥として、農地に還元する取組が必要と考え、約15ヘクタールの水田で収集し、堆肥化や水稻の栽培試験を実施しました。試験では、慣行栽培に比べ収穫量に差はなく、病害虫や倒伏の被害もなかったことから、来年度より水田への堆肥の供給を進めていきます。

◆ブランド農産物の認定 ちば



一般公開中のコウノトリ

エコ農産物の認証を受けたものやエコファーマーが混合堆肥を使って生産したものなど、優れた品質や特性を持った農産物を認定し、1月末現在で230人から申請いただき、ブランド農産物を認定しています。更に認定件数を増やすため生産者の方々に周知を図り、野田ブランド農産物の宣伝や販路拡大等の取組を行っていきたく考えています。

◆コウノトリをシンボルとした安全・安心の地域再生、自然再生の取組 2月9日に江川地区で飼育している特別天然記念物のコウノトリを一般公開しました。

2月20日現在、620人の方に見学いただきました。コウノトリはどのような鳥なのか、なぜ野生のコウノトリが一度絶滅してしまったのか、市のコウノトリから生まれた子どもを野生に帰すためには、どのような取組が必

要なのかなどをお考えいただき、コウノトリを通して市が取り組んでいる自然保護や再生をご理解いただければと考えています。

コウノトリの愛称募集は、市内の各小学校にポスターを掲示して、応募用紙と投入箱を設置した上で期間を設けて、強制的にならないよう自由に応募していただくよう考えています。

### 中心市街地の再活性化と買物弱者対策の実施

◆のだ元気市場 1日当たり平均来客数は、11月95人、12月109人、1月112人と増加傾向で、10月23日にコモディイイダ野田店が開店した影響と考えられる落ち込みから回復傾向にあります。

◆移動販売の実施 12月28日に生活協同組合パルシステム千葉と協働事業の協定を締結し、1月14日から延べ10日間の内覧会を実施後、1月28日から移動販売車「まごころ便」の運行を開始しています。2月20日までの1日当たりの平均利用客数は、関宿北部・中部コースが77人、川関宿南部コースが76人、東部・福田コースが106人で、多くの方から「近所で買物ができるように

## 東日本大震災義援金の受付期間を延長

日本赤十字社を通じた「東日本大震災義援金」には、3月13日現在、52,936,539円が集まりました。ご協力いただきました皆さんの善意に対し、あらためてお礼を申し上げます。なお、引き続き被災地の復興のために、義援金の受付期間を延長しましたので、皆さんのご協力をお願いします。

### 市窓口での受付(土・日・祝日・施設休館日を除く)

【期間】平成26年3月31日頃まで  
【時間】8時30分から17時15分まで  
【場所】社会福祉課(市役所1階13番窓口)、関宿支所、各出張所、公民館(野田は除く)、福祉会館

※募金箱も各受付場所(市役所は総合案内)に設置しますが、領収書が必要な方は、募金箱には入れず、直接窓口(市役所は社会福祉課)にお越しください

### 郵便振替

【期間】平成26年3月31日頃まで  
【口座番号】00140-8-507  
【口座名義】日本赤十字社 東日本大震災義援金  
○振替用紙の通信欄に「氏名、住所、電話番号」を明記し、窓口でお受け取りになった半券(受領証)は大切に保管してください  
○郵便局窓口での取り扱いの場合、振替手数料は無料です